

日経平均株価

2万1627円34銭

▲18円42銭(前日比)

TOPIX

1617.11

▲2.72(前日比)

2019

3/25

月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心齋橋ビル6C

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



新天皇即位で祝賀ムード

新元号特需などビジネスチャンス



昭和から平成へ元号が移行した1989年1月は7日に昭和天皇崩御のニュースが伝わり、全国に自粛ムードが広がったが、自粛明け後の新元号と新天皇即位による経済波及効果が期待され、日経平均

均には崩御後の1週間で10000円超の大幅高となっている。今回は生前退位のため自粛ムードはなく、祝賀ムードが即広がることになりそうだ。新元号の発表と同時に特需が期待されるのが印刷関連。行政機関や金融機

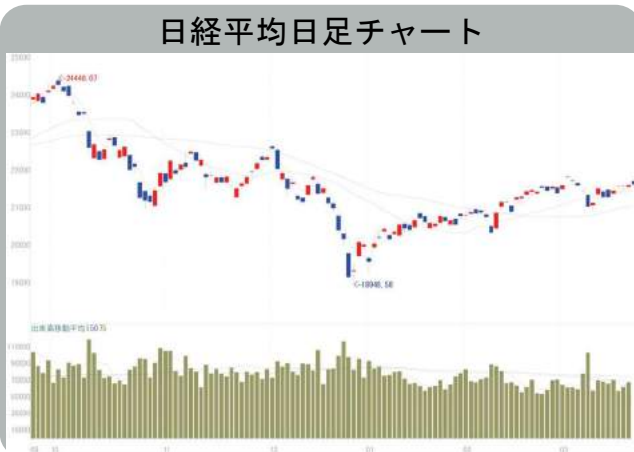
関の書類変更、企業の印刷物変更などで、光村印刷(7916)や光陽社(7946)、野崎印刷紙業(7919)、カワセコンピュータサイ(7851)、凸版印刷(7911)は、生前

の需要も増加し、ワ

退位の発表が行われ、以降、幾度か物色された。近年は部数減に悩まされているが、皇室関連の話題が増え、最古の新聞輪転機メーカーの東京機械製作所(6333)も見直される可能性がある。記念すべき新元号の元日には、プリンターなどの需要も増加し、ワ

印刷、ブライダル、旅行など

4月1日は新年度入りとともに、平成に代わる新元号が発表され、新天皇即位へ向けた動きが本格化する。昭和から平成へ元号が移行した前回とは異なり、約200年ぶりで明治以降では初めて、現天皇の生前退位後に新天皇の即位が行われる。天皇崩御後の即位とは異なり、今回は祝賀ムード一色となることから、様々な面でポジティブな波及効果がもたらされるだろう。新元号発表から天皇即位へ向けて、それらに関連してビジネスチャンスが期待される関連企業ピックアップしてみた。



タベウエディング(4696)やクラウディアホールディングス(3607)、ツカダ・グローバルホールディング(2418)なども注目できよう。

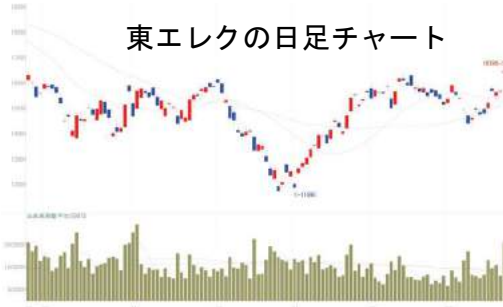
そして、目先的には5月1日が「即位の日」として祝日となり、10連休となることから、エイチ・アイ・エス(9603)やKNTCTホールディングス(9726)などの旅行大手のビジネスチャンスは広がる。

今週の動意銘柄

半導体関連が高い

SOX指数半年ぶり高値

週明け18日、東京エレクトロン（8035）やSCREENホールディングス（7735）など半導体関連株が高い。前週末の米国市場でSOX指数が一時3・7%上昇、約半年ぶりの高値を付け、海外関連株高の流れが波及した。ブロードコム（6461）の決算で今年後半に需要が上向くと見通しを示した。



東エレクの日足チャート

19日、窪田製薬ホールディングス（4596）が連続ストップ高で昨年来高値を更新した。窪田良CEOがNASAから有人火星探査を含むペースミッシヨンの研究代表者に任命され、全額出資子会社のアキュセラ・インク（米国）が、TRISHと小型OCT開発受

19日、ミンカブの初値
ミンカブの初値が1050円を33・3%上回る。19日、ミンカブ・ジ・インフォノイド（4436）がマザーズ市場に新規上場、公開価格1050円を33・3%上回る。

19日、コプロ・ホールディングス（7059）が東証マザーズ市場に新規上場、公開価格2090円を14・6%上回る。
19日、コプロ・ホールディングスの初値
コプロ・ホールディングスの初値が2090円を14・6%上回る。

19日、KHCCの初値
KHCCの初値が151円を2%下回る。2部市場に新規上場、公開価格151円を2%下回る。

19日、KHCCの初値
KHCCの初値が151円を2%下回る。2部市場に新規上場、公開価格151円を2%下回る。

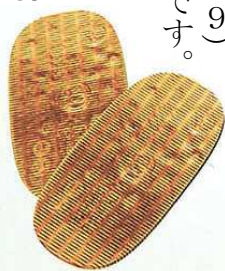
ほか、半導体製造装置受注が回復しつつあるとのレポートも関連株見直しの流れを後押ししたという。

アグレ都市下方修正

18日、アグレ都市デザイン（3467）が急落。19年3月期の単体業績予想について、売上高を168億8200万円から157億2700万円（前期比9・1%増）、営業利益を9億2900万円から5億5300万円（同32・4%減）へ下方修正した。4Qの販売棟数が計画に比して大きく減少している。

18日、共栄セキユリス（7058）が東証マザーズ市場に新規上場、公開価格2100円を36・5%上回る。
18日、共栄セキユリスの初値
共栄セキユリスの初値が2100円を36・5%上回る。

正直いいさんの株で大判小判
22日の東京市場は小動きに推移しました。FOMC後の急ピッチな円高を受けて、祝日で国内が休場中にCMEの日経平均先物は2万1130円まで急落、その後はNY株高を受け、買い先行で始まりました。ただ、下値は買戻しが支え、米ことで、半値を押し目買いで対カブコン（9697）が出直りの動きを強めており、調整一巡から切り返してきたイボキン（5699）ともども引き続き注目です。理経（8226）も上値を伸ばしており、週明け前場の動きを注視しています。



花咲翁

着感強い状況づく

着感強い状況づく。押し目買いで対カブコン（9697）が出直りの動きを強めており、調整一巡から切り返してきたイボキン（5699）ともども引き続き注目です。理経（8226）も上値を伸ばしており、週明け前場の動きを注視しています。

企業観察 大和ハウス工業(1925)

大型案件が本格貢献へ

大和ハウス工業(1925)は19年3月期に現中期計画の最終年度を迎えるが、目標の連結売上高4兆500億円(前期比6・7%増)、営業利益3540億円(同2・0%増)を達成できる見込み。2ヶタを大きく上回る大幅増益が続いた過去2期から成長ピッチは鈍るが、当初目標は初年度に達成し、計画期間中に目標値を2度引き上げており、今期は次の成長へ向けた踊り場と判断できるだろう。現中計では持続的事業拡大へ基盤整備を進めており、3年間で過去最大の7200億円の不動産投資を実施、三大都市圏と地方中核

今期は次の成長への踊り場

都市で複合開発を進める一方、海外市場開拓にも力を入れてきた。その成果が前倒しで表れたかたちで、今期も震・制振用オイルダンパー問題の影響を商業施設や事業施設の拡大で吸収、中国関連会社不正流用問題の影響も軽微だった。消費増税など不透明要因はあるものの、商業施設はホテルや介護施設、保育園なども増えており、事業施設も「大阪茨木や岩手や静岡でも物流センターの造成が進んでいる」(会社側)。今後、大型案件が本格的に収益に貢献してくる見通しで、次期中期計画も高い目標が設定されそうだ。

今週の動意銘柄

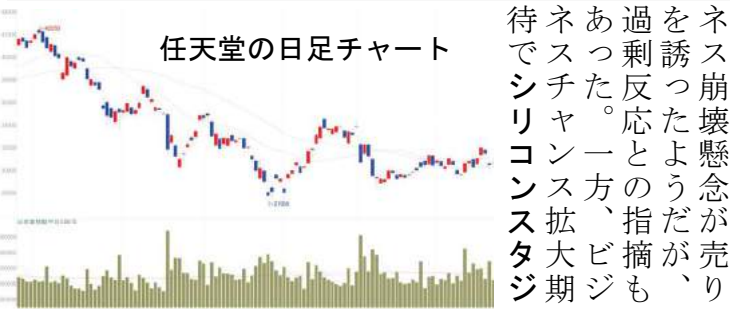
週末22日、エーザイ(4523)がストップ安。米バイオジェンと開発を進めているアルツハイマー病を対象としたアデユカヌマブの臨床第3相国際共同試験を中止すると発表されたことで、失望売りが殺到した。独立データモニタリングコミッティが主要評価項目達成の可能性が低いと判断した。22日、廣濟堂(7868)が急反発。旧村上ファンド系の投資会社「レノ」の企業グループの南青山不動産が、同社が1株610円でMBOを実施していることへの対抗公開買付けを発表した。TOB価格は750円。

任天堂とソニー急落

Googleクラウドゲーミング発表

グ技術「STADI」を発売した。S T A D I A 普及によるゲーム専用機

20日、任天堂(7974)とソニー(6758)が急落。Googleがm e b r o ウザ上で動作するクラウドゲーミング専用機



任天堂の急落は、ネス崩壊懸念が売りを誘ったようだが、過剰反応との指摘もあった。一方、ビジネスチャンスを拡大期待でシリコンスタジオ(3907)やC R I・ミドルウェア(3698)のミドルウェア株がストップ高に買われた。20日、ギークス(7060)が東証マザーズ市場に新規上場、公開価格1930円を50・3%上回る2900円で初値をつけた。ITフリーランスを支援し、企業向けに技術リソースのシェアリングを提

公開価50%上回る

ギークスの初値

3月27日重要変化日

先週の東京株式市場は米FOMC週ということもあり小動きに推移しました。FOMCでは年内の利上げはゼロ、量的引き締めは9月に中止というハト派な着地となりましたが、一方で欧州連合(EU)は英国議会が4月12日までの離脱日の延期を認めたとうえで、英国の長期延長に应じるか、合意なき離脱を選ぶかを最終判断するよう求めることを決めました。早期決着を求める決断となったことで先行きへの懸念材料が示されました。今週は27日(水)が権利落ち日となりますので、25~26日は配当取りの動きが出るものと思われます。そして27日は、2016年6月安値から一目均衡表の時間論における一巡環となる676日目であり、また昨年10月高値から12月安値の59日に対する対等日柄となります変化日となりますので、どのような変化が起こるのか注目となります。

日々勇太朗



エーザイ臨床中止でS安

廣濟堂は対抗TOB

カプコン

「デビルメイクライ5」

発売2週間弱で200万本を出荷！



ox One、PlayStation 4およびPC向けゲーム「デビルメイクライ5」が、全世界で200万本を出荷した。最新作の「デビルメイクライ5」は、ナンバリングとして10年ぶりの最新作。シリーズの持ち味であるスタイリッシュなアクションと最先端のビジュアルを、同社独自のゲームエ

カプコン
(9697)
の「デビル
メイクライ」
シリーズ最新
作であるXB

ーツリーグの最終決勝大会となるカプコン「ストリートファイターリーグ powered by RAGE」グラウンドファイナルが成功裏に閉幕したことも発表している。今後の展開として、eスポーツ初心者からプロまでプレイヤー層の幅広い拡大に向けた国内での更なる取り組みとして、選手の育成を目指す「STREET FIGHTER LEAGUE:Trials」と、プロ選手が腕を競う「STREET FIGHTER LEAGUE:Pro:JP」の今年初夏開催も決定した。

「RENGIN」で統合し、リアルかつ繊細に表現することで、さらに魅力が増している。加えて、オンラインプレイシステム「シェアードシングルプレイ」の導入により、世界中のプレイヤーと交錯するリアルタイムのマッチングなど新たなプレイ体験を提供。その結果、発売後2週間足らずで全世界200万本の販売を達成した。

3月21日に秋葉原で開催した国内eスポーツ

購読会員募集中！

証券市場新聞では、購読会員を募集しています。

高野恭壽の
株式情報 **これでどや!!**

大阪で600人越えの集客を記録、アンケート調査で「是非聞きたい講師」全国第1位
人気株式評論家 高野恭壽の株式マガジン！

<https://marketpress.jp/kabu-takano/>

証券市場新聞 公式メールマガジン

優良銘柄に加えて新興銘柄のタイムリーな限定情報が満載！

<https://www.mag2.com/m/0001678061.html>

潮流

市場改革は株主視点で

時価総額増へ最善策は株価上昇

marKet / bAnk

東京証券取引所による市場区分の見直しを巡る議論が大詰めを迎えている。

東証1部市場の上場基準を緩和したことで銘柄数が多くなり過ぎ、時価総額の開きもかなり大きくなったことが今回の再編のきっかけとなった。東証1部市場の銘柄数は2137社で全上場銘柄の約60%を占めており、世界の市場(300社から500社)と比べても多いことが分かる。新たな東証1部市場ではプレミアム市場を創設し、時価総額が500億円以上の企業を対象とし、その数は1035社となる。残りの約1000社がスタンダード市場となる。マザーズとスタンダードに選ばれなかったジャスダック企業がエントリー市場となる。

東証は外国の機関投資家が日本を代表する企業に投資する機会を増やして東証1部市場の活性化を狙うというのが一番の狙いだ。プレミアムという名を付けた意味でも分かるようにここで選ばれた企業は他の企業よりも上質で高級といった価値観を示すことで、日本の上場企業ブランドとしてのイメージを植え付け、外国人投資家に分かりやすい市場を作ることによって新たな資金の流入を促したいと考えられる。いずれ、プレ

ミアム指数が新たに作られ、大口機関投資家やファンドからの資金を呼び込む手段になるだろう。

一方で機関投資家は市場の見直しが東証株価指数(TOPIX)に与える影響を不安視している。TOPIX

は東証1部の全銘柄で構成する。1部企業を時価総額で絞り込むと1部を外れる銘柄にパッシブ投資家の売りが強烈に出てくることも考えられる。また、時価総額が1000億円を超えても売買代金が7億円を満たない企業は何と295社もある(3/18日時点)。投資家からの関心が薄く、売買されないような企業がプレミアムとしての価値があるか疑問である。

東証はプレミアム市場を目指して取り組む企業が増えることで企業の改革を進めたいと考えていることもあるだろう。時価総額を増やすためには増資や分割、M&Aなどがあるが、何といても株価を上昇させることが最も株主にとって必要なことである。時価総額だけで企業の価値を判断するのではなく、株主の視点に立って市場を改革しなければ何の意味もなさない。

潮流銘柄は理経(8226)、サニーサイド(2180)、ギークス(7060)。



岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から

ら優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

TOPIXへの影響警戒

サニーサイドの日足チャート



チャート から読む 騰落銘柄

ブロードメディア(4347)



クラウドゲームの先駆的存在で70円台での揉み合いから出来高を交えて一気に100円台を目指す急騰。18年1月高値119円を抜ければ17年7月27日高値161円までフシはない。

電算システム(3630)



大勢上昇トレンドのなか、3000円絡みでの保ち合いを上放れ最高値を更新。好業績期待に加え、信用倍率0.47倍の好取組も株価を押し上げ、鋭角的に上昇してくる5日線をフォローに噴き上げ局面へ。

宇部興産(4208)



2500円台後半の揉み合いを経てレジ安傾向継続。50日線割れから昨年12月25日安値2047円が意識される。25万株超の買い残も重石で、カプロラクタム市況軟化や金属片混入による収益懸念も。

スペースVHD(1448)



関連会社の不適正会計による四半期報告書提出期限延長を嫌気、5日線に上値を抑えられ、急落局面が続く。手じまい売りに出来高は急増ながら、押し目買いに信用買い残の整理が進まず一段安を警戒。

今週の

活躍期待銘柄



リログループ(8876)

昨年来高値3365円目指す

高で2500円(前期比10.9%増)、営業利益で184億8000万円(同19.8%増)と2ケタ増収増益を見込む。子会社を通じての仮住まいサービスや海外赴任支援の拡大も来期以降の業績拡大を支援していく。(と)

リログループ(8876)は昨年12月25日の安値2434円を底に目立たぬながら上昇基調が継続、11月29日高値3200円を抜ければ、9月28日の昨年来高値3365円を目指す展開が期待される。

企業福利厚生の総合アウトソーサーで住宅管理や賃貸管理、福利厚生運営代行、海外赴任支援を展開している。19年3月期は企業における人手不足への対応や業務効率化の動きが活発化したことで借上住宅管理で管理手数料収入が増加。賃貸管理での仲介件数も計画を超過しており、通期連結売上

19年3月期は2ケタ増収増益



理経(8226)

今期20%増収で黒字浮上

営業増益の1億7400万円(前期1億7400万円)の赤字)と2割近い大幅増収で黒字浮上を見込む。国内で5Gインフラ整備が進むなか、ビジネスチャンスが広がっており、来期は本格的な収益拡大が期待される。(さ)

理経(8226)は昨年12月安値116円を底に一貫して下値を切り上げ昨年来高値を更新、出来高は漸増方向で過熱感もなく、ここから上げ足を速めそうな気配だ。

緊急地震速報の「Jアラート」を総務省に提案したことでも知られるIT・エレクトロニクス技術商社で、ネットワークソリューションは4K・8Kなど大容量化する映像配信に対応、ドローンや人工知能(AI)、IoT分野にも優位性を持つ。M&A効果と映像配信システムの拡大で当面の業績は急回復、19年3月期は連結売上高95億円(前期比19.5%増)、

5G関連でビジネスチャンス

※チャートは日足

FOMC後の為替を注視

高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

先週前半の東京市場はFOMCが予定されていたことから、手控えムードが強く小動きで推移しました。そして注目されて

いたFOMCについては、2019年の想定利上げ回数ゼロとし、よりハト派的政策スタンスへの転換を鮮明にしました。バランスシート縮小については9月に終了すると表明しており、事前に市場が想定していたものよりもハト派的な内容になっていまして、これを受けて1ドル111円台後半で推移しているため、1ドル110円50

アコム一本に絞って勝負

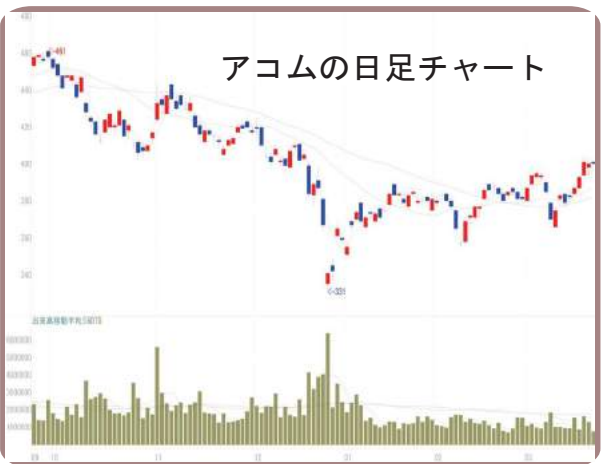
ており、ドル安の動きが継続するようであれば東京市場全体の値を抑える可能性があると考えています。

ただ、半導体系はしっかりと展開になっていきます。20日の東京市場では日立、富士通が寄り付きこそ戻り待ちの売りで反落しましたが、すかさず切り返し前日終値を上回り、富士通は2月高値をクリア、日立も1月高値を更新していました。両社の上昇基調が維持すれば、他の半導体関連にも出遅れ感が台頭するのではと期待しています。

一方、Googleがクラウドゲームの新サービス「Stadia」を発表したことで、ソニーと任天堂が大幅に売られました。ゲーム業界の将来性については成長鈍化の見通しが強いだけに、独自の画期的な製品を登場させないと厳しい株価推移が続くそうです。

一方、ノンバンクではアコム(8572)の株価が400円以上の水準で定着するものとみられますので、一段高を期待できそうです。オリックス(8591)もジリ高傾向にあり目が離せま

銭台まで円高が進行しています。今回のFOMCの声明から2020年1月の利下げ論も浮上し



せんが、ここはアコム一本に絞って勝負すべきと思っています。今回の狙いは穴株としてやまびこ(6250)、東海カーボン(5301)、日野自動車(7205)です。当欄一貫推奨のアングレス(4563)は1100円をがっちり守る動きとなっていました。その動きをみて下値不安が薄いとみた買いが入っています。しかし、まだ、上値を追う場面は先になるとみているので、積極的積極的に拾うことは早いと早いです。思っています。

高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市場情報
これでどや!!
<https://marketpress.jp/kabu-takano/>
毎日情報を配信中!

星野三太郎の

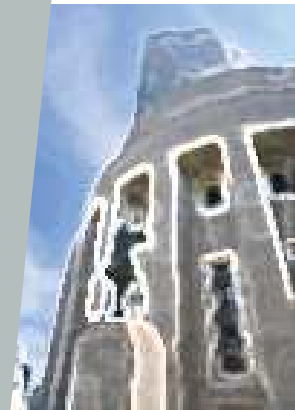
株街往来

～自らの能力で生きる～

年度末になり、取材先や知人から転勤や転職の連絡が少なからずくる。この数年で多いのが、株価の乱高下に絡む運用成績不振で証券ディーラーが退職するケース。筆者の知人は運用成績は悪くないのに、運用主体の225先物が時間外に動きは急変してリスクが高くなったという理由だけで契約が解除されてしまったので、能力が悲しい限り。

規制やリスク回避に神経質な証券界の一方で、それ以外の上場企業で能力の高い方では、転職や起業でステップアップする方も少なくない。筆者がお世話になった方では、機械商社の財務担当を経て、昨年从上場を目指すベンチャー企業支援を独立して行っている。収入はサラリーマン時代に比べて減ったそうだが、組織のしがらみにとらわれず、自らの意思で行動できることに喜びを感じてゐるようだ。

終身雇用という言葉が死語になった現在において、改めて感じることは、自らの能力で生きていく手段を確保しておくこと。人事移動が多いこの時期に学ぶことは多い。



企業レター

石原さとみさんが開幕宣言 ハリー・ポッター5周年セレモニー

USJ

ワールド・オブ・ハリー・ポッター」5周年開幕セレモニーを開催、スプリング・サポーターの石原



中央が石原さとみさん

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、3月19日に「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリー・ポッター」5周年開幕セレモニーを開催、スプリング・サポーターの石原さとみさんが、ホグワーツ魔法魔術学校の生徒たちやホグズミッド村の住人、特別に招待されたハリ・ポッターファンとともに華やかに5周年の開幕を宣言した。

「ミニオン・ナイトパーティ at ザ・パレード」を加えてグレードアップした期間限定バージョンのナイトパレードのプレスプレビューも石原さとみさんを迎えて開催している。石原さとみさんは「5周年のキャスルショーは、今でないと味わえないので、本当に観てほしいです」と語っている。

魔法魔術学校の生徒たちとともに石原さとみさんがサプライズで登場すると、特別に招待されたハリ・ポッターファンたちをはじめ、会場からは大歓声が沸き起こった。

前日の18日には春の夜空を華々しく彩る2アトラクション、「ウィザーディング・ワールド・オブ・ハリ・ポッター」の新キャストの「ホグワーツマジカル・セレブレーション」と、昨年、テーマパーク業界で「世界最高評価を得たこと」を記念し、新演出

日経225先物日足チャート



敏腕先物ディーラー
ハチロクの裏話

今週は底堅い展開

「合意なき離脱」ない限り

マリナーズのイチロー選手が21日、現役引退を発表した。イチロー選手と言えば、大リーグで10年連続200本安打を達成したり、日米通算4367安打を記録し、ギネスブックにも登録されている。震災の時は多額の寄付をしたり、野球以外にも日本国民に勇気と希望を与えてくれた人だったと思う。まさに平成を代表する野球選手だろう。

引退の決断は難しかったと思うが、会心の爽やかな顔を見ていると悔いはなさそう。今後は球団の監督ではなくて子供たちに野球を教えたいという。その発言にもイチローらしさを感じた。今まで元気をくれてありがとう。そしてお疲れ様でしたと言いたい。

相場の方は相変わらず英国のEU離脱問題が進展せず、モヤモヤした相場が続いている。大方の予想は3カ月の離脱延期であるが、メイ首相が議案を可決しなければ「合意なき離脱」は現実の事となる。ただ、英国の株価は10年連続伸張ポンドにも、大きな動きはなく緊張

感は伝わってこない。相場は「何とか合意して軟着陸するだろう」と高を括っているようだ。今週が山場、警戒して動向を見るしかない。

今週は26日が3月物権利付き最終売買日である。その後は配当の再投資の買入れも期待できるので「合意なき離脱」にならない限り底堅い展開となる。一目均衡表では27日に雲がねじれる「変化日」となる。動きやすい日とされているので要注意である。ボリンジャーバンドの△2σは2万1838円、▼2σは2万1106円であり、今週もこのレンジで動きそうである。(ハチロク)

編集後記

20日、福岡と東京で桜が開花、平年より2日早く、昨年よりも2日遅かった。今年の冬は暖かく3月も気温が高めで、開花は平年より早い。暖冬の影響で休眠打破が鈍く、花芽の成長が遅いことから、記録的な早さにはならなかったという。また、今週はいったん気温が下がることから、開花のスピードが緩やかに、花が咲いている期間が長めになるらしい。

東京市場では中小型材料株の個別物色が続いているが、個人投資家としては小休止を入れながら息の長い相場になって欲しいところ。

メイ首相が議案を可決しなければ「合意なき離脱」は現実の事となる。ただ、英国の株価は10年連続伸張ポンドにも、大きな動きはなく緊張

今週のスケジュール

- ・22日 米2月中古住宅販売件数 (23:00)
- ・25日 1月全産業活動指数 (13:30)
独3月Ifo景況感指数 (18:00)
- ・26日 2月企業向けサービス価格指数 (8:50)
3月14・15日開催の日銀金融政策決定会合の「主な意見」
3月末権利付き最終日
米2月住宅着工件数 (21:30)
- ・27日 米1月貿易収支 (21:30)
米10-12月期経常収支 (23:00)
- ・29日 2月労働力調査・有効求人倍率 (8:30)
2月鉱工業生産、2月商業動態統計 (8:50)
統一地方選・41道府県議選、17政令都市議選告示 (4/7投開票)
米2月生産者物価 (21:30)
英国のEU離脱は延期の見込み
米2月新築住宅販売件数 (23:00)

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。